

ウラジオストク滞在に関する報告について（9月分）

1. ウラジオストク国立経済サービス大学（ブグェス）での授業について

夏季休暇が終わり、9月14日（火）より授業が再開しました。

月	火	水	木	金
	会話・読解	文法・作文	会話・読解	文法・作文
			文法・作文	

「会話・読解」の授業は引き続きオンラインで行われております。「文法・作文」の授業は、1対1の対面授業で行われています。授業数は少ないものの、どの授業も宿題の量が多く、中には、ロシアの有名な映画「Москва слезам не верит(英題:Moscow does not believe in tears)」を見て内容を理解してくるという宿題もありました。

2. 市内でのイベントについて

9月のウラジオストクはイベントが目白押しでした。2日（木）～4日（土）にはルースキー島にて東方経済フォーラムが開催され、25日（土）にはウラジオストク国際マラソンが開催され、多くの参加者が普段歩行者の通行できない場所を走り、汗を流し楽しんでいました。また24日（金）～26日（日）には、マリインスキー劇場にて、静岡県舞台芸術センターによる演劇「マハーバーラタ」が公演されました。

11日（土）にはウラジオストク市郊外にあるウサージバ（ロシア語で「屋敷」の意）にて、ロシア人オペラ歌手によるコンサート「легенды мировой музыки（世界的音楽の伝説）」が開催されました。カルメンやオペラ座の怪人などの往年の名曲やロシアの名曲を耳にし、美しい屋敷と庭に囲まれ、心地よい時間を過ごしました。

また併設された博物館には、民族衣装や童話の世界をハチミツ菓子で再現したジオラマなど大変興味深い展示がありました。



(写真1 コンサートの様子)



(写真2 はちみつ菓子で出来たジオラマ、子供が食べてしまうこともある)

3. 市内観光について

日本人の現地駐在員や日本人留学生の方々をお誘いし、ルースキー島からヨットに乗船しました。船長や乗員の小話を楽しみながら、ウラジオストクの美しい夕暮れを堪能しました。



(写真3 夕暮れの中ヨットを操縦する筆者)

4. ウラジオストク市内の状況について

- ・治安状況

今月、当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

- ・市内の様子

(参考) 沿海地方の新型コロナウイルス感染状況 (10月7日)

累計感染者数 70,426人 累計死者数 1,174人

1日の感染者数 217人 1日の死者数 2人



(写真4 革命広場に新しくできた噴水)

- ・気候

ウラジオストクの9月は平均気温が17℃程度と涼しく快適な過ごしやすい季節とよく言われています。当然、中には肌寒い日はありますが、そんな日でも海岸では海水浴を楽しむロシア人がいます。10月からは一気に冬の様相を呈すると聞いており、防寒具を少しずつ買い集めています。